色彩の輝きと装飾性

当館が作品を所蔵するジョルジュ・ルオー Georges Rouault (1871-1958) は、人間の苦悩や慈愛を、独自の主題と油彩技法を通して描いた20世紀フランスを代表する画家です。ルオー・ギャラリーでは、ルオー作品の魅力を様々な切り口から紹介しています。今回は、ルオー作品の「色彩の輝きと装飾性」に注目してご紹介いたします。

金属的なきらめきや、美しい装飾文様が魅惑的なアール・ヌーヴォーの陶磁器やガラス製品は、今日まで世界中の人々を魅了してやみません。一方、青年期にステンドグラス職人の下で修業したルオーの油彩作品においても、輝くような色彩や、装飾的な要素を見ることができます。

ルオーの油彩作品において、色彩の輝きが一層強まるのは、1950年代以降のことで、なかでも《キリストとの親しき集い》(1952年)は、黄色や赤、オレンジなど暖色を基調とする明るい色彩や、厚塗りの絵の具による独特のマティエールによって、画面の内側から光を放つような神秘的な情景が現出しています。

晩年にルオーは、油彩における、輝くような色彩の表現を極めますが、その一方で、1930年代以降より、装飾芸術の分野にも関心を寄せ、ステンドグラスやタピスリー、七宝細工のための下絵を提供していました。こうした装飾芸術分野への画家の関与は、同時期に彼が描いた油彩における主題や構図にも影響を与えています。たとえば、ルオーが1930年代になって新たに取り組んだ主題に、花瓶に生けられた花がモティーフとして登場するようになりますが、これは、ルオーがこの時期に依頼を受けたタピスリーの下絵の制作の途上で生まれた主題で、当館でも2点の《飾りの花》(1947年)を所蔵しています。アーチを用いた構図や、抽象化された花の形態などに、装飾的な要素を見ることができます。他にも、たとえば《エジプトへの逃避》(1952年)は、額縁にまで着彩が施され、画面の輝く色彩とともに、ステンドグラスやタピスリーといった装飾芸術との親和性を感じさせるルオー作品の一つです。

Panasonic Shiodome Museum of Art
ROUAULT GALLERY

ルオー・ギャラリー 現在展示中の作品

ルオー・ギャラリーでは、パナソニック汐留美術館が所蔵している、日本でも有数の
ルオーコレクションの中から、テーマごとに作品を展示しています。

色彩の輝きと装飾性

2021年10月9日（土）～ 12月19日（日）

金属的なきらめきや、美しい装飾が特徴的なアール・ヌーヴォーの陶磁器やガラス製品は、今日まで世界中の人々を魅了してやみません。一方、青年期にステンドグラス職人の下で修業し、後に「かたち、色、ハーモニー」をモットーに数多くの作品を生み出したルオーの作品においても、輝くような色彩や装飾的な要素を見ることができます。

No.	作品名 Titre	技法／材質 Technique and Support	サイズ （H x W cm） Size	制作年 Date
1	キリストとの親しき集い *Intimité chrétienne*	油彩／紙（板で裏打ち） Oil on paper mounted on panel	70.4×107.5	1952年
2	秋の夜景 *Nocturne d'automne*	油彩／紙（麻布で裏打ち） Oil on paper lined onto linen	74.8 x 100.2	1952年
3	古きヴェルサイユ *Vieux Versailles*	油彩／皿 Oil on ceramic	42.6×51.6	1950年頃
4	飾りの花 *Fleurs décoratives*	油彩／紙(麻布で裏打ち) Oil on thin paper lined onto linen	56×40.1	1947年
5	飾りの花 *Fleurs décoratives*	油彩／紙(ポリエステル布で裏打ち) Oil on paper lined onto linen	53.5×37.5	1947年
6	エジプトへの逃避 *La Fuite en Egypte*	油彩／紙（板で裏打ち） Oil on paper mounted on panel	39 x 33.5	1952年
7	曲馬師 *Ecuyère au corsage vert*	油彩／紙(ポリエステル布で裏打ち) Oil on paper lined onto linen	23×18.8	1940-49年頃

※作者は全てジョルジュ・ルオー Georges Rouault (1871-1958)です。
※作品の所蔵先は全てパナソニック汐留美術館です。
※作品名のみ、欧文は、フランス語での表記となっています。
※番号は展覧会会場の展示順序と必ずしも一致しません。

～当館公式YouTubeチャンネルのご案内～
当館公式YouTubeチャンネルで、当館が所蔵するルオー作品の中から、選りすぐりの作品たちを、
当館で西洋美術を担当する学芸員が順次解説しています。
随時更新してまいりますので、ぜひご覧ください！